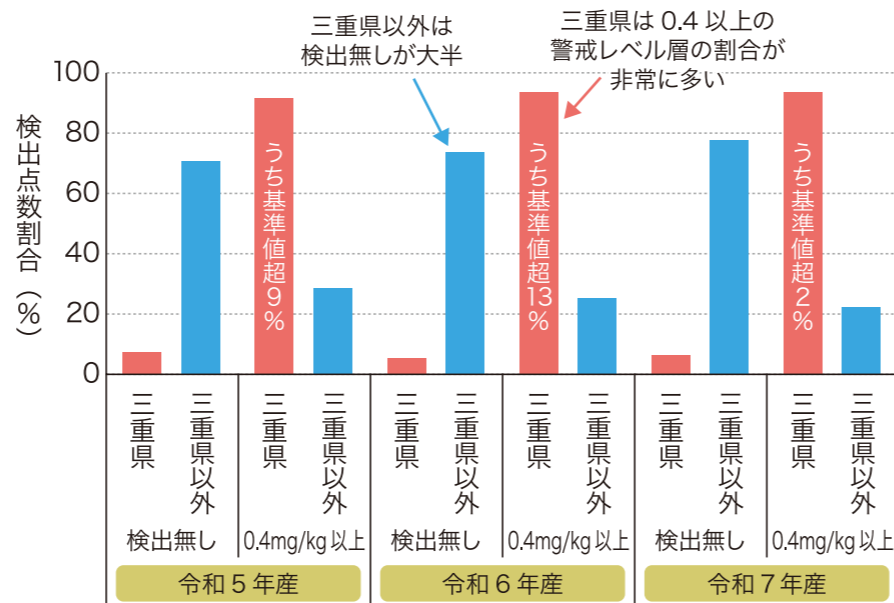


# 三重県産小麦のかび毒値が高く推移しています！ かび毒汚染のない安全・安心な麦を作りましょう！

- 食品衛生法により、かび毒であるデオキシニバレノール (DON)\*の値が **1.0mg/kg 以上の小麦は食品として流通することができません。**
- 令和5～7年産の**三重県産小麦において、基準値 1.0mg/kg を超過するロットが複数発生**しました。
- 他県では、令和4年産において、基準値を超えた小麦が商品として流通し、商品回収となった事案も発生しています。
- 基準値を超過した麦が流通した場合、実需者、消費者、そして小麦産地としての信頼を失います。

\*デオキシニバレノール (DON) とは、赤かび病菌によって産生される毒素で人畜に中毒症状を引き起こす恐れがあります。



令和5～7年産におけるDON検出点数割合



**赤かび粒混入  
限度は0.0%!!**  
(農産物検査法農産物検査規格による)



※後期に感染した粒は健全粒と見分けがつかない場合あり

## ..... DON 低減のため、適期防除・複数回防除を徹底しましょう! .....

**01 ポイント** **適期防除**  
**1回目 開花始め～開花期**

- 開花前や、開花後の経過日数が長くなってからの防除では効果が劣ります。
- 播種期間が長い場合、開花期が揃わず、一斉防除では適期を逃す可能性があります。**必ず圃場で開花始めを確認し、防除を行ってください。**

DON濃度 無防除区比(%)

効果なし 効果高い 効果低い

穂揃い期 開花始め 開花始7日後 開花始14日後

適期散布でDON濃度低下!

1回目の防除時期とDON濃度の関係 (三重県農業研究所)

**穂揃い期**

- 穂は出ていますが、**開花はしていません。**
- この時期に薬剤散布をしても、ほとんど効果はありません。

**開花始め**

- 「葯」が数個出始めた穂が、圃場全穂の10%に達した時期。
- 1回目の薬剤防除の開始時期です!

**開花期**

- 「葯」が数個出始めた穂が、圃場全穂の40～50%に達した時期。
- 1回目防除は、この時期までに実施を!

**02 ポイント** **2回以上の防除**  
**2回目 1回目から7～10日後**

- 複数回の防除により、DON濃度は低減します。**必ず2回以上の防除を行ってください。**
- 2回目以降の防除は、薬剤感受性の低下を防ぐため、1回目と異なる系統(FRACコード)の薬剤を散布してください。

DON濃度 無防除区比(%)

2回防除でより高い効果

無防除 1回防除 2回防除

2回防除がDON濃度に与える影響 (三重県農業研究所)

※防除時期に雨が続く場合でも、**短い晴れ間を利用して防除を!**

**他人ごとではありません! 1人の不注意が地域全体の大問題に発展します。1度失った信用は取り戻せません。**